

# 弘前市夏季陸上競技大会 競技注意事項

## 1 競技規則について

本大会は2024年度(財)日本陸上競技連盟規則および「競技会における広告および展示物規程」並びに、本大会申し合わせ事項によって実施する。

## 2 練習について

- (1) 本競技場での練習は8:25までとする。また、跳躍競技については競技準備に入る前の時間帯に限り練習できるが、現場には必ずチーム監督者が立ち会い責任を負うものとする。
- (2) 投てき種目の練習は競技開始前に審判員の指示で行う。本競技場での朝の時間帯や競技場外での練習は危険防止のため禁止する。
- (3) 走路を横断する際は、前後左右をよく確認して安全に留意する。

## 3 招集について

- (1) トラック競技の招集所は、屋内練習場内(100mスタート側)に設け、フィールド競技は現場が招集場所となる。
- (2) 競技者は出場種目の招集開始時刻がきたら招集所に集合して、競技者係よりユニフォーム、アスリートビブス、スパイク等の確認を受ける。
- (3) 招集時刻は、トラック競技は競技開始時刻の30分前に開始し15分前に終了する。また、フィールド競技は40分前に開始し30分前に終了する。
- (4) 棄権する場合は、「欠場届」(招集所に準備)を招集開始時刻までに招集所に提出する。
- (5) 招集完了時刻に遅れた競技者は棄権したものとして処理する。

## 4 番組編成について

トラック競技は、主催者によって走路順を決定する。

## 5 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは配付されたままの大きさと胸部と背部に確実に付ける。ただし、跳躍種目に出場する競技者は胸部または背部の一方でよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバーカードをパンツの右やや後方に付ける。競技終了後は各自の責任において処分する。(周辺に放置しない)

## 6 スパイクシューズ、靴底の厚さの制限について

- (1) スパイクの本数は11本以内とする。
- (2) スパイクの長さは9mmを超えてはならない。ただし、走高跳及びやり投競技においては12mmを超えてはならない。
- (3) 競技規則TR5.2により、靴底の最大の厚さは80mm以上のトラック種目と三段跳は25mm以下、その他のトラック種目(リレーを含む)とフィールド種目は20mm以下とする。

## 7 競技用具について

- (1) 競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使用する。
- (2) 競技者個人の器具は、練習用といえども競技場内に持ち込んではならない。

## 8 競技場の中に商品名のついた衣類、バックを持ち込む場合について

- (1) 日本陸上競技連盟「競技会における広告および展示物に関する規定」を適用する。それに示すサイズを超えてはならない。
- (2) 競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。

## 9 競技について

- (1) トラック及びフィールド内には、競技者並びに役員・補助員以外は立ち入ることはできない。
- (2) セパレートレーンで行う競技は、競技者の安全確保のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走り抜ける。また、欠場者のレーンはそのままあけておく。
- (3) 競技規則 TR16.8 を適用し、「TR16.7」「TR16.7.1」「TR16.7.2」により、不正スタートをした競技者は一回で失格とする。
- (4) 800m は1つのレーンから2名をスタートさせる方法で行う。
- (5) リレー競技のオーダー用紙（招集所準備）は、招集完了時刻の1時間前までに招集所の競技者係に提出する。一度申告するとその後の変更は、招集完了時刻までに医務員の判断がない限り認められない。変更ができた場合でも、オーダーの変更は認められない。
- (6) リレー競技で使用するマーカーは、各チームで用意し、レース終了後は確実に撤収する。
- (7) リレー競技においては、原則としてチームで同一のユニフォームを着用すること。
- (8) フィールド競技（走高跳以外）は3回の試技とし、トップ8は行わない。
- (9) 跳躍、やり投の競技者は助走路の外側（走高跳は助走路内）に、マーカーを2個まで置くことができる。
- (10) 走幅跳に計測記録を設け、競技日程に記載する。

## 10 バーの上げ方について

走高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。ただし、状況により変更することもある。

区 分		練習	高さ	上げ方	高さ	上げ方
一般・高校	男	1.35	1.40～	5cm 刻み	1.80～	3cm 刻み
	女	1.15	1.20～	5cm 刻み	1.45～	3cm 刻み

## 11 表彰について

各種目8位入賞者には賞状を授与する。

## 12 その他

- (1) 救急、救護に関する処理は医務室で行う。ただし、応急処置は行うが以後の責任は負わない。
- (2) 競技場の施設、設備およびウォームアップ場は大切に使用すること。
- (3) 盗難にあわないように、持ち物および貴重品の管理には十分注意する。
- (4) 拾得物については大会総務で保管するが、大会終了後は野球場事務室にて保管する。
- (5) ゴミは各自が持ち帰る。

**※ 関係する競技者・補助員以外は、スタンド下（更衣室、招集所、表彰場所）や競技場内には立ち入りできません。**